

問1 18世紀末から19世紀半ばにかけて、江戸幕府は外国船の来航に対し、強硬な姿勢から穏和な姿勢へと方針を二転三転させました。1842年に幕府が、それまでの「異国船を容赦なく打ち払う」という方針を撤回し、漂着した船に燃料や食料を分け与えて帰帆させることとした背景として最も適切な理由を記述した文を選んでください。（2017年 千葉県公立入試 類似）

- | | | | |
|--|---|---|---|
| 1. アヘン戦争で大国である清がイギリスに敗北したという情報を得て、武力衝突を避ける必要性を感じたため。 | 2. ロシアのラクスマンが根室に来航し、正式な国交を結ぶことが幕府の利益になると判断したため。 | 3. 蚕社の獄によって弾圧された蘭学者たちの主張を認め、海外との自由貿易を推進する方針へ転換したため。 | 4. 江戸湾の沿岸警備を強化するなかで、軍事費の増大を抑制するために平和外交を優先せざるを得なかったため。 |
|--|---|---|---|

問2 18世紀後半のイギリスでは、マンチェスターなどの都市を中心に、ワットが改良した蒸気機関などの新技術が導入されました。これにより、手作業による生産から機械を用いた大規模な生産へと移行し、社会の仕組みが農業中心から工業中心へと劇的に変化した出来事を漢字4字で何とといいますか。（2020年 沖縄公立入試 類似）

- | | | | |
|---------|---------|---------|---------|
| 1. 産業革命 | 2. 技術革新 | 3. 文明開化 | 4. 市民革命 |
|---------|---------|---------|---------|

問3 19世紀半ば、ペリー率いるアメリカ艦隊（黒船）が来航した際、これらの船はそれまでの帆船とは異なり、風の力を使わずに自力で航行することが可能でした。イギリスで始まった産業革命の技術革新によって開発され、石炭を燃料として大きな動力を生み出したこの装置の名称として適切なものはどれですか。（2019年 奈良公立入試 類似）

- | | | | |
|---------|-------------|-----------|-------|
| 1. 蒸気機関 | 2. ガソリンエンジン | 3. 電気モーター | 4. 水車 |
|---------|-------------|-----------|-------|

問4 1851年にイギリスで開催された第1回万国博覧会とその後の日本文化の広まりについて述べた文として、当時の時代背景や国際的な影響を正しく説明しているものはどれか。（2026年 群馬公立入試 類似）

- | | | | |
|---|---|--|--|
| 1. 産業革命を成功させたイギリスで最初の万博が開催され、後に葛飾北斎らの浮世絵が西洋画家に影響を与えるジャポニスムのきっかけの一つとなった。 | 2. フランス革命の終結を記念してパリで最初の万博が開催され、横山大観が描いた近代的な日本画が西洋の抽象絵画の誕生に決定的な影響を与えた。 | 3. 大航海時代の幕開けを象徴する行事としてロンドンで開催され、日本の鎖国体制を打破するために日本の工芸品が初めて大量に輸出される機会となった。 | 4. アメリカの独立100周年を記念してロンドンで開催され、日本の明治政府が初めて公式に参加して、欧米の産業技術を日本に導入する唯一の手段となった。 |
|---|---|--|--|

問5 幕末の貿易において、日本を開国させた当事国であるアメリカの貿易シェアが急速に低下し、代わってイギリスが圧倒的なシェアを獲得した背景として、当時のアメリカ国内の状況を説明したものとして適切なものはどれですか。（2018年 岐阜公立入試 類似）

- | | | | |
|-------------------------------------|--------------------------------------|-------------------------------------|---|
| 1. 国内で南北戦争が勃発し、国外への貿易に注力する余裕がなくなった。 | 2. 産業革命の進展が遅れ、日本に輸出するための工業製品が不足していた。 | 3. アヘン戦争に敗北した影響で、東アジアにおける外交権を失っていた。 | 4. 江戸幕府ではなく、薩摩藩や長州藩などの有力な雄藩との個別貿易を優先した。 |
|-------------------------------------|--------------------------------------|-------------------------------------|---|

問6 明治政府は、欧米諸国と結んでいた不平等条約を改正することを外交の最優先課題としていました。この条約のうち、日本の主権を侵害し、国内での裁判を日本の法律で行うことができないと定めていた条項の内容を説明したものとして、適切なものを選びなさい。（2021年 秋田県公立入試 類似）

- | | | | |
|-------------------------------------|----------------------------------|-----------------------------------|----------------------------------|
| 1. 日本国内で罪を犯した外国人を、その国の領事が自国の法律で裁く権利 | 2. 輸入品に対して日本側が自由に税率を決定することができる権利 | 3. 他国に与えた最も有利な条件を、自動的に自国にも適用させる権利 | 4. 特定の地域に外国人が居住し、商業活動を行うことを認める権利 |
|-------------------------------------|----------------------------------|-----------------------------------|----------------------------------|

問7 徳川慶喜が、政権を朝廷に返上する「大政奉還」を行った背景にある政治的な狙いとして最も適切な説明はどれですか。（2022年 山形公立入試 類似）

- | | | | |
|--|--|---|--|
| 1. 武力討幕を計画していた勢力から名分を奪い、返上後も徳川氏を中心とする新しい政治体制を築こうとした。 | 2. 朝廷の権威を完全に否定し、徳川氏による独裁体制をより強固なものにするために反対勢力を一掃しようとした。 | 3. 外国の圧力に屈して全ての開港場を閉鎖し、再び鎖国体制を徹底させることで国内の支持を得ようとした。 | 4. 將軍の地位を世襲から選挙制に変更し、諸大名の互選によって新しい幕府の代表者を決める制度を導入しようとした。 |
|--|--|---|--|

答え合わせ・解説

-
- 問1** **答え 1**
アヘン戦争で大国である清がイギリスに敗北したという情報を得て、武力衝突を避ける必要性を感じたため。
- 1825年に出された異国船打払令によって幕府は強硬姿勢を強めていましたが、隣国である清がイギリスとのアヘン戦争に敗れたというニュースは幕府に大きな衝撃を与えました。西洋列強の圧倒的な軍事力を認識した幕府は、同様の紛争が日本で起こることを恐れ、1842年に新水給与令を発令して、人道的な支援を行った後に速やかに立ち去らせるという方針に転換しました。
-
- 問2** **答え 1**
産業革命
- 18世紀後半のイギリスで始まった、動力の革新と機械の導入による生産力の飛躍的な増大を指します。これにより資本主義経済が確立され、人々の生活や社会構造が根本から変化しました。選択肢にある「技術革新（イノベーション）」は産業革命に含まれる要素の一つですが、社会全体の变革を指す語としては「産業革命」が適切です。
-
- 問3** **答え 1**
蒸気機関
- 18世紀後半にイギリスで始まった産業革命により、石炭を燃料とする蒸気機関が実用化されました。これにより、風や潮流といった自然の力に依存せず、強力な動力を得ることが可能になりました。ペリーの来航した「黒船」は、この蒸気機関を搭載した軍艦を含んでおり、当時の日本人に技術的な衝撃を与え、開国を促す大きな要因となりました。
-
- 問4** **答え 1**
産業革命を成功させたイギリスで最初の万博が開催され、後に葛飾北斎らの浮世絵が西洋画家に影響を与えるジャポニスムのきっかけの一つとなった。
- 第1回万国博覧会は、産業革命によって圧倒的な経済力を持っていたイギリスのロンドンで開催されました。この博覧会を皮切りに、各国の万博で日本美術が紹介されるようになり、葛飾北斎らの浮世絵が西洋画家に大きな影響を与える「ジャポニスム」が流行しました。なお、日本の明治政府が初めて公式参加したのは1867年のパリ万博ですが、文化交流の背景としては1851年のロンドン万博がその先駆けとしての象徴的な意味を持ちます。
-
- 問5** **答え 1**
国内で南北戦争が勃発し、国外への貿易に注力する余裕がなくなった。
- アメリカは1858年に日米修好通商条約を締結しましたが、直後の1861年から国内で南北戦争が始まりました。この内戦によりアメリカは日本との貿易を拡大させることが困難になり、その隙を突く形でイギリスが日本市場でのシェアを独占する形となりました。この状況は、後の幕末外交においてイギリスが新政府側を、フランスが幕府側を支援するといった勢力図にも影響を与えました。
-
- 問6** **答え 1**
日本国内で罪を犯した外国人を、その国の領事が自国の法律で裁く権利
- 領事裁判権は、本来その国が持っているはずの裁判権を他国に委ねるものであり、国家としての主権を著しく侵害する制度でした。明治政府はこの不平等を解消するため、法典の整備などを進めて近代国家としての体制を整え、1894年に陸奥宗光がイギリスとの間でこの権利の撤廃に成功しました。
-
- 問7** **答え 1**
武力討幕を計画していた勢力から名分を奪い、返上後も徳川氏が中心となる新しい政治体制を築こうとした。
- 当時、薩摩藩や長州藩は武力で幕府を倒そうとしていました。慶喜は先手を打って政権を返すことで討伐の口実をなくし、諸侯会議などの新しい仕組みの中で、最大の領主である徳川氏が実質的な主導権を握り続けようと画策しました。
-